

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1年前期	1	1	M, E, S, A, C, D：必修（教職必修）
担当教員			
黒瀬 隆・土肥 稔・鎌田 昂・大相 弘順・本多 明生・渡邊 言也・芦澤 恵太・齋藤 正寛			
添付ファイル			

講義概要	<p>コンピュータを活用してさまざまな情報を収集、分析することと、新たな情報を作成し、発信する技術は、いずれも大学生として様々な学習を進めたり、レポートや卒業研究をまとめたりする上で必須の基礎スキルである。また、この技術は、その後の研究や社会においても大いに役立つ。この授業は演習形式で行い、全員にワープロ、表計算ソフトなどのアプリケーションを操作する課題を課す。その実際の操作を通した、アクティブラーニングにより、パソコンの基本的な活用法をしっかりと習得してもらおう。この科目は、情報システム開発分野の実務経験のある教員が担当する科目である。</p>
授業計画	<p>1-2 コンピュータとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的な構成 ・パソコンの設定 ・プリンタとメールの設定 ・オペレーティングシステムとその操作 ・ファイル管理 など ・AL ③, ④を行う ・事前学習：テキストの第1章「パーソナルコンピュータの基礎」の内容を理解する ・課題：上記第1章の内容の実施。大学内のネットワークプリンタの利用法の修得と出力印刷。 <p>3 インターネットと電子メール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用した情報検索、発信 ・電子メールのしくみと活用法 ・コンピュータリテラシー など ・AL ③, ④を行う ・事前学習：テキストの第2章「インターネット利用」の内容を理解する ・課題：上記第2章の内容の実施。電子メール設定と送受信。 <p>4-6 ワードプロセッサソフトの使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語入力と適切な文字種の選択 ・図やグラフの挿入と簡単な表の作成 ・文書編集とレイアウトの変更 など ・AL ③, ④を行う ・事前学習：テキストの第3章「Microsoft Word」の内容を理解する。 ・課題：上記第3章内の各練習問題を実施し提出。 <p>7-11 表計算ソフト使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトとは（基本的な作表操作） ・基本的な関数とその活用 ・グラフの作成 ・統計とデータベース など ・AL ③, ④を行う ・事前学習：テキストの第4章「Microsoft Excel」の内容を理解する。 ・課題：上記第4章内の各練習問題を実施し提出。 <p>12-15 プレゼンテーションソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドの作成と構成 ・図やグラフの挿入 ・プレゼンテーションの基本 など ・AL ①, ②, ③を行う ・事前学習：テキストの第5章「Microsoft Power Point」の内容を理解する。 ・課題：上記第5章の内容を実施し、各自プレゼンテーション用ファイルを作成し提出、それを元にプレゼンテーションを実施する。
授業形態	<p>パソコンを操作しながら、演習形式で活用法を習得する。詳しくは授業において指示する。</p> <p>アクティブラーニング：①：4回, ②：4回, ③：15回, ④：11回, ⑤：0回, ⑥：0回</p>
達成目標	<p>授業計画および授業中に示す各項目の操作法を身につけるとともに、ワープロ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを十分に活用し、文章・レポート・論文作成、数値計算や統計処理、適確でデザイン性の高いプレゼンテーション資料の作成及び、プレゼンテーションの実行などが出来るようになる。</p>
評価方法・フィードバック	<p>提出された課題についてはその内容についてフィードバックを行う。指定課題の提出と作成内容、及びプレゼンテーション等の総合演習により評価を行う。課題60%、総合演習40%の割合で評価する。</p>
評価基準	<p>「合格」「不合格」の評価とする。上記評価方法の結果、パソコンの活用法を十分に修得できた人を合格とし、それ以外を不合格とする。</p>
教科書・参考書	<p>教科書：「情報リテラシー教科書 Windows 11/ Office 2021対応版」 ISBN-13: 978-4274229657 また、必要に応じて、参考書や配付資料を使用する。</p>
履修条件	なし。

履修上の注意	<p>(1) 自分のノートパソコン一式（大学指定の仕様を満たすもの。電源、LANケーブル。）、及び教科書・配付資料を毎回必ず持ってくること。</p> <p>(2) 各課題を自分で実行できないと、合格の評価を与えられないので、わからない事は、必ずその都度、教員もしくはTA/SAに質問すること。</p> <p>(3) この授業はアクティブラーニングをメインとする演習科目であり、課題の実施状況を特に重視するので、欠席は致命的である。やむを得ず欠席をする場合は、必ず、自習すべき内容について教員の指示を仰ぐこと。</p>
準備学習と課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業計画中に記載されている「準備学習」の内容（1.5時間）を必ず行うこと。 ・授業計画中に記載されている「課題」の内容（1.5時間）を必ず行い提出すること。提出課題については次回の講義内で解説する。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解：20％， 思考・判断：20％， 関心・意欲：20％， 態度：20％ 技術・表現：20％
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	